

第18号
平成20年11月5日
発行
「市民活動情報誌
なると」編集委員会

市民活動 情報誌なると

鳴門市ボランティア
連絡協議会
TEL 685-7170
鳴門市市民活動
支援センター
TEL 684-0655

平成20年度鳴門市社会貢献活動講演会が開かれる



講演会会場



中村先生の講演

平成20年度鳴門市社会貢献活動講演会(鳴門市主催)が27日、鳴門市老人福祉センターで開催されされました。中村英雄氏(NPO法人新町川を守る会、理事長)が「川を活かしたまちづくり」と題して講演され、「水辺にあつまる人づくり」を目標に、川で遊ぶこと、川をきれいにすることの実践例をまじえて、わかりやすく紹介されました。

始めに陸上に浮かぶ「ひょうたん島」について説明があり、徳島市内には138もの川が流れており、上空から見ると新町川と助任川に囲まれた約6kmの中州はひょうたんに似ていることから「ひょうたん島」と呼ばれ親しまれていると話されました。ひょうたん島一周無料クルーズはあまりにも有名です。また、船が3隻になり、鳴門市の撫養川まで運行をはじめました。口コミで広がり、たくさんの人たちが乗船し非常に好評であるとのこと。将来は、鳴門の人たちと連携してもっと発展させたいと話されました。

会では新町川(毎月、1日と第3土曜日)吉野川(毎月第2日曜日午前8時～10時)、マリンターミナル周辺(毎月第1日曜日午前中)の清掃が続けられ、さらに堤防の緑化、花壇づくりを実施し、水際コンサート、川からサンタ、寒中水泳、5～6万人が参加する吉野川フェスティバルは大変な人気イベントの一つだそうです。最近では吉野川の水源地、高知県の大川村の山林を借り「3001年森づくり」活動も始められ広葉樹の植林面積を拡大されています。

参加者から「ごみ拾いをして清掃した矢先からごみを捨てていく。どうしたらよいか」との質問に「絶対怒らんようにして、黙々と清掃してください」と答えられていました。この精神こそが、あのどぶ川の新町川をみごとにきれいな川に再生した理由だと思えます。また、ボランティアを長く続けるためには、「自分が楽しむことだ」と話されたことが印象深く納得しました。

今後は県や市の財政支援が縮小する中で、いかにして活動資金を確保するかという課題があるとのこと。しかし、住民、行政、企業が一体となって誰でも利用できる川づくり、まちづくりが着実に進められています。

「新たな公」をめざして



私たちのNPO法人は、平成14年9月設立、15年4月に認証を受けており、既に5年余の実績を有しています。活動は、法人化前から取り組んでいる板東谷川の美化や大麻土曜市の開設など地域の活性化に取り組んでいますが、法人化後は、公民館の業務委託を受け「地域の元気は公民館から」のスローガンのもと館業務を通じて地域への結び付きを強化しています。昨年度は国交省から「鳴門市都市再生モデル事業」の委託団体として選定され、板東中心商店街のビジョンづくりを行ない「ばんどう門前通り」への名称変更や「一店（戸）一美運動コンクール」を実施してまちの

NPO法人まちづくりサークル大麻 理事長 三浦 啓親

景観づくりをおこなったところであります。

今年度は、国の施策「新たな公」によるコミュニティ創生支援事業にいち早く応募し「地域資源活用型癒しのばんどう門前通り形成と担い手育成事業」の提案が選定され、実施に向けて取り組んでおります。NPO大麻（略称）は4年前に公民館業務を受託した時から、公的活動を担う自覚を持って取り組んでおりますが、「新たな公」事業は、まちづくりの「公的」な担い手での役割意識をさらに高めるものであります。しかし、NPO組織の現状を自己分析すれば、活動力、企業提案、情報発信力、財政力などが弱く、地域の課題に取り組むには、さらなる自努力が求められています。また、行政側にも、鳴門市総合計画にある”新しいかたち・市民参加都市なると”づくりに向けた市民との共同意識の高揚やボランティア活動への支援の施策や仕組みを策定していただきたいと願うものであります。行政とボランティア団体が協働実践の段階である今日、パートナーシップを持って取り組みたいと期待しております。

『鳴門ソントクラブ』は エネルギー

鳴門ソントクラブ 広報 梶 昌子

★（ソント）って何？

アメリカの原住民の言葉”正直・誠実”を意味する言葉です。いたずらっ子の名前じゃないよ。

★では「ソントクラブ」って？

正式には「国際ソント」という国連の諮問機関に協力もする国際奉仕団体で本部はアメリカのシカゴ。89年前（1919年）に結成されました。

★「鳴門ソントクラブ」の活動を知って下さい
鳴門ソントクラブは今年で結成30年。毎年開催される児童画コンクール、外国人女子学生への奨学金、鳴門市立図書館のソント文庫や彫刻、桜、高速鳴門のバス乗り場の時計もソントの寄付でチクタク動いています。



今年の『児童画コンクール』は審査結果が出たところです！今年29回を数える「児童画コンクール」は9月28日に審査日を迎え提出数734点の内312点の受賞絵画を選びました。

展示…11月7・8・9日 9時～5時

鳴門市立図書館 是非、見に来てください。

チャリティー口笛コンサート計画中

来年2月15日（日）2時～4時

大塚ヴェガホール

お楽しみに！

希麗会 について

代表 英 年教

わが町は、われわれの手で綺麗に美しくしよう
と言う主旨の元に、平成20年5月ボランティア団体「希麗会」をたちあげました。その名称を公表したところ「希麗」の希は、間違っているとご忠告を受けましたが、次のようにお答えしました。古来、日本人は人物、風景、料理に到る迄、麗しさ、潔ぎよさを愛でて育んできましたが、近頃では次第に失われつつあると言う思いから、あえて麗しさと希むと言う意味をこめて「希麗会」と名付けました。我等が町、瀬戸町は新ゴミ処理場建設に際し住民が賛否両論にわかれ、大揺れに揺れお互いに深い傷跡を残し、いまだに修復されたとは言えませんが、御承知のとおり、新ゴミ処理場も順調に稼働する現在、過去のいきさつにこだわらず一心一体となって、先ず私たちは地域の清掃美化をするという作業から、ボランティア精神の意識を高めると同時に、心身の向上を図り、瀬戸町明神のイメージを一新したいと言う願望のもとに毎日奮闘しています。当「希麗会」は第1回地域清掃を7月13日に行い、第2回目9月14日は「花街道明神を目指して」と題して、会員約20人の参加をいただき実行できました。

しかし、季節柄雑草の生育が激しく理想とする花街道に至る道のりはまだまだ苦闘に満ちた歳月が必要かと思われます。私たちは今後3年ないし5年を目途に夢の実現に向けて努力するつもりですが、それには会員の皆様は勿論、地域住民の方々それから市の担当部門のご協力無くしては到底、目標達成は成し遂げられるものではないと弁えておりますので今後とも皆様には長い目をもってご支援、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



希麗会の方々による清掃活動

新

法

人

紹

介

鳴門市に新しいNPO法人が誕生しました。どうぞよろしく願いたします。

徳島トップアスリートアカデミー

【事務所】 鳴門市撫養町南浜字東浜 343 番 1

【理事長】 大岩 賢

【目 的】 この法人は、徳島県民に対してスポーツ選手の育成・強化、スポーツ活動の支援に関する事業を行い、スポーツ選手の振興及び子どもの健全な育成に寄与することを目的とする。



ドイツ村—BANDOロケ村—保存会

【事務所】 鳴門市大麻町松野神ノ北
56 番地 3

【理事長】 林 宏明

【目 的】 この法人はドイツ村—ロケ村保存会を母体として推進する友愛、文化教育、国際交流、平和の精神を持って社会福祉事業、ボランティア活動、子ども青少年の育成と高齢者の生きがいのある社会を構築し、もって国家、人類、福祉の増進等に寄与することを目的とする。

NPO法人賀川豊彦記念館 11月行事案内

鳴門市賀川豊彦記念館作文募集コンクールの表彰式・作文発表会

「賀川豊彦に関する作文」・「わたしの将来・夢についての作文」

◆日時：平成20年11月29日(土曜日) 9:30~12:00

◆場所：鳴門市賀川豊彦記念館 二階会議室

◆参加費：無料

◆お問い合わせ：賀川豊彦記念・鳴門友愛会事務局 鳴門市大麻町椋字東山田 50-2

電話 FAX 088-689-5050

助成金情報



四国労働金庫社会貢献活動「助成金制度」

助成対象団体

NPO法人、社会福祉法人ボランティア団体、その他住民の福祉の増進を図ることを目的とする法人及び団体で以下に該当すること。

- 四国内に主たる事務所を有していること
- 組織の運営に関する定款または会則のある団体
- 非営利活動を行う団体で、1年以上の活動実績を有し且つ引き続き活動が継続できる見込みのある団体
- 10人以上の会員・当金庫に受取口座開設できること

対象事業

- 福祉活動であること
- 自発的、非営利活動で公共性のあること
- 当金庫と共通の目的を有し、相互に協力する活動であること等

助成金額

年度ごとの助成金総額 600万円以内

1団体に対する助成金限度額 20万円以内（前年度助成を受けた団体は10万円以内）とする。

助成期間：平成20年12月1日～平成21年1月31日

お問い合わせ先

最寄りの営業店または下記まで

〒760-0011 香川県高松市浜ノ町72番地3号

四国労働金庫 総合企画部

☎087-811-8004 FAX 087-811-8101

西日本SHDパートナー 倶楽部地域活性化支援基金

助成分野

- 人々の交流を増進する活動、
- 自然と人間が共生する活動、
- 障害を持つ方々が社会参加するための活動等、
- 地域を活性化して元気にする様々な活動

助成総額：1000万円、1件当たり
100万円

対象地域：中・四国地域

申請書の審査・選考：当財団が申請書類を審査、西日本高速道路サービス・ホールディングス(株)で選考・推薦。後、当財団の理事会で決定

応募申請の締切日：11月30日まで
(当日消印は有効)

お問い合わせ先

財団法人大阪コミュニティ財団
田附、山本、久米

☎ 06-6944-6260

FAX 06-6944-6261

✉info@osaka~community.or.jp
